

注意すべき こどもの腹痛

神戸大学大学院医学研究科内科系講座

小児科学分野こども急性疾患学部門

特命助教 近藤淳

本日の内容

- 腹痛を起こす病気にはどんなものがあるの？
- 「危ない腹痛のサイン」ってどんなの？
- いつ受診したらいいの？

第23回
こども急性疾患学寄附講座(神戸市)公開講座

**こどもの病気の
早期発見のポイント** 参加費
無料

日時 2022年10月8日(土)
10:30~12:00

オンライン配信

事前登録制です。参加をご希望の方は
pedit@med.kobe-u.ac.jp に
10月8日(土)までにメールをお送りください。
※一応には、題名に「第23回こども急性疾患学公開講座」、
本文に「参加希望」「お名前」のご記載をお願いします。
視聴方法は当日メールでお知らせいたします。

1. あいさつ

2. 公開講座

1 注意すべきこどもの腹痛
神戸大学大学院医学研究科内科学講座小児科学分野
こども急性疾患学部門
特命助教 近藤 淳

2 こどもの貧血、
早期発見のポイント
神戸大学大学院医学研究科内科学講座小児科学分野
こども急性疾患学部門
特命講師 田村 彰広

お問い合わせ先 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
〒650-0017 神戸市中央区南野町7-5-1 TEL.(078)382-6090

主催 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
後援 神戸市-神戸市医師会-神戸市小児科医会

本日の内容

- 腹痛を起こす病気にはどんなものがあるの？
- 「危ない腹痛のサイン」ってどんなの？
- いつ受診したらいいの？

第23回
こども急性疾患学寄附講座(神戸市)公開講座

参加費
無料

こどもの病気の 早期発見のポイント

日時 2022年10月8日(土)
10:30~12:00

オンライン配信

事前登録制です。参加をご希望の方は
pedit@med.kobe-u.ac.jp に
10月8日(土)までにメールをお送りください。
※一応には、題名に「第23回こども急性疾患学公開講座」、
本文に「参加希望」「お名前」のご記載をお願いします。
視聴方法は当日メールにてお知らせいたします。

- あいさつ
- 公開講座
 - 1 注意すべきこどもの腹痛
神戸大学大学院医学研究科内科学講座小児科学分野
こども急性疾患学部門
特命助教 近藤 淳
 - 2 こどもの貧血、
早期発見のポイント
神戸大学大学院医学研究科内科学講座小児科学分野
こども急性疾患学部門
特命講師 田村 彰広

お問い合わせ先 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
〒650-0017 神戸市中央区南野町7-5-1 TEL.(078)382-6090

主催 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
後援 神戸市-神戸市医師会-神戸市小児科医会

急な腹痛を起こす病気

消化管（胃腸）の
病気

消化管以外の
病気

急な腹痛を起こす病気

消化管（胃腸）の 病気

- 便秘症
- 感染性胃腸炎
- 腸重積症
- 腸閉塞
- 急性虫垂炎
- 消化性潰瘍
- 腸軸捻転
- メッケル憩室炎

- 鼠経ヘルニア嵌頓
- 胆嚢炎/胆管炎
- 膵炎
- 外傷

etc.

消化管以外の 病気

- 尿路感染症
- 尿路結石
- 肺炎
- 気管支喘息発作
- アナフィラキシー

- 外傷
- 月経痛
- 精巣捻転
- 卵巣嚢腫茎捻転
- 子宮外妊娠
- アレルギー性紫斑病
- 溶血性尿毒症症候群
- 腸腰筋膿瘍
- 大動脈瘤破裂

etc.

これでもほんの一部…

実際の救急診療では、

- ①「多くみられる病気」を中心に、
- ②「緊急で手術などが必要な危ない病気」に注意しながら
診ている。

実際の救急診療では、

①「多くみられる病気」を中心に、



年齢や性別によって異なる

「病気」に注意しながら

診ている。

急な腹痛を起こす病気

胃腸の病気

- 便秘症
 - 感染性胃腸炎
 - 腸重積症
 - 腸閉塞
 - 急性虫垂炎
 - 消化性潰瘍
 - 腸軸捻転
 - メッケル憩室炎
 - 鼠経ヘルニア嵌頓
 - 胆嚢炎/胆管炎
 - 膵炎
 - 外傷
- etc.

胃腸以外の病気

- 尿路感染症
- 尿路結石
- 肺炎
- 気管支喘息発作
- アナフィラキシー
- 外傷
- 月経痛
- 精巣捻転
- 卵巣嚢腫茎捻転
- 子宮外妊娠
- アレルギー性紫斑病
- 溶血性尿毒症症候群
- 腸腰筋膿瘍
- 大動脈瘤破裂

etc.

急な腹痛を起こす病気

胃腸の病気

- 便秘症
- 感染性胃腸炎
- 腸重積症
- 腸閉塞
- 急性虫垂炎
- 消化性潰瘍
- 腸軸捻転
- メッケル憩室炎

胃腸以外の病気

etc.

- アナフィラキシー

- 子宮外妊娠
- アレルギー性紫斑病
- 溶血性尿毒症症候群
- 腸腰筋膿瘍
- 大動脈瘤破裂

etc.

この2つが特に多い！

便秘症

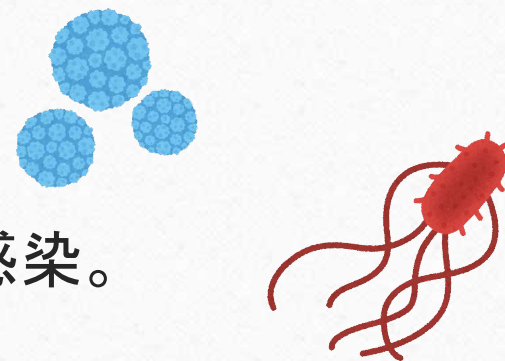


- 腹痛の原因として、**どの年齢層でも一番多い!**
(普段から便は出ていると思っけていても、実は便秘という子は多い…)
 - 腹痛以外の症状がほとんどなく、痛みに波がある。
 - 触診や超音波検査、レントゲンで便貯留あり。
- ⇒ **浣腸**後に排便があれば、ほぼ腹痛は消失する!

腹部Xp

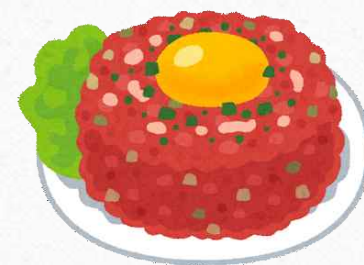
感染性胃腸炎

- ウイルス性（ロタ、ノロ etc.）や細菌性（カンピロバクター、病原性大腸菌 etc.）の感染。



- 嘔吐や下痢を伴う（初期は認めないこともある）。

- 喫食歴（生ものなど）や周囲の流行状況が重要。



⇒ 基本的に抗生剤や下痢止めは使用せず、症状に応じた対症療法を行う！
（吐き気止め、整腸剤、経口補水療法、点滴など）

実際の救急診療では、

①「多くみられる病気」を中心に、

②「緊急手術などが必要な危ない病気」に注意しながら

診ている。



急な腹痛を起こす病気

胃腸の病気

- 便秘症
- 感染性胃腸炎
- 腸重積症
- 腸閉塞
- 急性虫垂炎
- 消化性潰瘍
- 腸軸捻転
- メッケル憩室炎
- 鼠経ヘルニア嵌頓
- 胆嚢炎/胆管炎
- 膵炎
- 外傷

etc.

胃腸以外の病気

- 尿路感染症
- 尿路結石
- 肺炎
- 気管支喘息発作
- アナフィラキシー
- 外傷
- 月経痛
- 精巣捻転
- 卵巣嚢腫茎捻転
- 子宮外妊娠
- アレルギー性紫斑病
- 溶血性尿毒症症候群
- 腸腰筋膿瘍
- 大動脈瘤破裂

etc.

急な腹痛を起こす病気

胃腸の病気

- 便秘症
- 感染性胃腸炎
- **腸重積症**
- **腸閉塞**
- **急性虫垂炎**
- 消化性潰瘍
- **腸軸捻転**
- メッケル憩室炎

- **鼠経ヘルニア嵌頓**
- 胆嚢炎/胆管炎
- 膵炎
- 外傷

etc.

胃腸以外の病気

- 尿路感染症
- 尿路結石
- 肺炎
- 気管支喘息発作
- アナフィラキシー

- **外傷**
- 月経痛
- **精巣捻転**
- **卵巣嚢腫茎捻転**
- **子宮外妊娠**
- アレルギー性紫斑病
- 溶血性尿毒症症候群
- 腸腰筋膿瘍
- **大動脈瘤破裂**

etc.

これらの中でも代表的な病気

腸重積症

- 腸の中に腸が入り込んで抜けなくなり、ほっておくと腸が壊死してしまう。
- **3主徴：間欠的腹痛（不機嫌/啼泣）、血便、嘔吐**
（3つ揃わないこともしばしば。）
- 超音波検査が診断に有用。

図(腸重積イメージ)

図(血便)

⇒ 疑わしい場合、速やかに**高圧浣腸等による整復を試みる！**

急性虫垂炎

- いわゆる「盲腸」。ほっておくと虫垂穿孔、汎発性腹膜炎（命に関わる）を引き起こす。
- 主な症状：嘔気・嘔吐、食思不振、発熱、下痢
持続的な腹痛（徐々に右下腹部に限局/移動）、
咳などによる腹痛の誘発 etc.
- 超音波検査、造影CTが診断に有用。

⇒ 重症度により、**抗生剤治療や手術加療**を行う！



図(虫垂炎イメージ)

本日の内容

- 腹痛を起こす病気にはどんなものがあるの？
- 「危ない腹痛のサイン」ってどんなの？
- いつ受診したらいいの？

第23回
こども急性疾患学寄附講座(神戸市)公開講座

参加費
無料

こどもの病気の 早期発見のポイント

日時 2022年10月8日(土)
10:30~12:00

オンライン配信

事前登録制です。参加をご希望の方は
pediat@med.kobe-u.ac.jp に
10月6日(木)までにメールをお送りください。
メールには、題名に「第23回こども急性疾患学公開講座」、
本文に「参加希望:お名前」のご記載をお願いします。
視聴方法は後日メールにてお知らせいたします。

1. あいさつ
2. 公開講座

1 注意すべきこどもの腹痛
神戸大学大学院医学研究科内科学講座 小児科学分野
こども急性疾患学部門 特命助教 近藤 淳

**2 こどもの貧血、
早期発見のポイント**
神戸大学大学院医学研究科内科学講座 小児科学分野
こども急性疾患学部門 特命講師 田村 彰広

お問い合わせ先 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
〒650-0017 神戸市中央区福知山町7-5-1 TEL.(078)382-6090

主催:神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
後援:神戸市・神戸市医師会・神戸市小児科医会

さきほど示した

「緊急手術などが必要な危ない病気」で

みられる症状（サイン）を見逃さないことが大事！

危ない腹痛のサイン (Red Flag)

- 3～4時間以上持続、または徐々に増悪する強い腹痛。
- ピンポイント（右下腹部、下腹部）の強い腹痛/圧痛。
- お腹が急速に張って固くなる。
- 歩いたり、ジャンプしたりするとひびく（歩けない）。
- 緑色の吐物（胆汁性嘔吐）や血便が続く。
- 明らかな外傷歴/打撲痕。

急性虫垂炎
精巣/卵巣捻転

腹膜炎

腸閉塞、腸重積

肝/脾/腎損傷



これらのサインがあれば必ず救急受診してください！

ただし、

「危ない腹痛のサインがなければ大丈夫」ではない！

時間経過とともに増悪する場合もあるので、

症状がすっかり良くなってなければ

日中にかかりつけ医を受診してください！

本日の内容

- 腹痛を起こす病気にはどんなものがあるの？
- 「危ない腹痛のサイン」ってどんなの？
- **いつ受診したらいいの？**

第23回
こども急性疾患学寄附講座(神戸市)公開講座

**こどもの病気の
早期発見のポイント**

参加費
無料

日時 2022年10月8日(土)
10:30~12:00

オンライン配信

事前登録制です。参加をご希望の方は
pediat@med.kobe-u.ac.jp に
10月8日(土)までにメールをお送りください。
メールには、題名に「第23回こども急性疾患学公開講座」、
本文に「①参加希望」「お名前」のご記載をお願いします。
視聴方法は当日メールにてお知らせいたします。

1. あいさつ

2. 公開講座

1 注意すべきこどもの腹痛
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野
こども急性疾患学部門
特命助教 近藤 淳

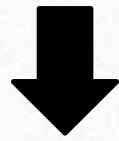
2 こどもの貧血、
早期発見のポイント
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野
こども急性疾患学部門
特命講師 田村 彰広

お問い合わせ先 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
〒650-0017 神戸市中央区南野町5-1 TEL. (078)382-6090

主催 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
後援 神戸市-神戸市医師会-神戸市小児科医会

「**危ない腹痛のサイン**」があれば救急受診！

でも、危なかりうが危なくなかりうが痛いものは痛い！



受診の前にできることはある？



腹痛の原因で特に多いのは

「便秘症」と「感染性胃腸炎」

便秘？

<典型例①>

- 4歳、男の子。
- これまで大きな病気はしたことがなく寝るまで元気。
- 夜0時にお腹を痛がって起きてきて、今も臍の回りや左下腹部が痛いと言って叫んでいる。
- 他の症状は特にはない。
- 2～3日前から便が出ていない。

おなかを温めたりマッサージしながらゆっくりトイレへ

→ 排便なく腹痛持続、または排便後も症状残存あれば受診考慮。

感染性 胃腸炎？

<典型例②>

- 5歳、女の子。
- これまで大きな病気はしたことがなく昼までは元気。
- 夕食前から何となく元気なかったが夕食は食べた。
- お風呂に入った後に続けて3回嘔吐あり、以降時折腹痛も訴えている。
- 最近幼稚園で胃腸炎が流行っている。

まずは絶飲食でしばらく様子を見る。

嘔吐の勢いが治まってきたら少しずつ（スプーン1杯）から飲水開始。

→嘔吐持続や腹痛が増悪するようなら受診考慮。

家にある薬は使っているの？

- 痛み止め

⇒ **使ってOK!**

(便秘や胃腸炎では効果低め)

- * 「痛みの程度がわからなくなる」という先生もいるが、基本的に**我慢しないといけない痛みはない。**

- 抗

⇒

ただし、
本人以外への処方や半年～1年以上前の処方は使用しない。

どうしたらいいか、不安なときは相談を！

- 電話相談も利用してください。

① 子ども医療電話相談

#8000 : プッシュホン回線、携帯電話、公衆電話

078-304-8899 : ダイヤル回線、IP電話など

② 神戸こども初期急病センター こども急病電話相談

078-891-3499



不安が解消されない場合は、
受診を考えて下さい。

<受診時の持ち物>

- ☑ 母子手帳
- ☑ お薬手帳
- ☑ 最近血液検査を行ったことがあればその結果
- ☑ 吐物、便などで気になる特徴(白色便、血便、胆汁性嘔吐など)があれば、現物持参(おむつなど)か写真も有用。



帰宅後の注意点

- 今が大丈夫でも、今後症状が悪化する可能性があります。
- 救急外来受診時にはなかった症状が、帰宅後にでてくることもあります。
- 症状が持続していれば、翌日中（朝）にかかりつけ医を受診してください。

帰宅してからも
症状を慎重に見守ってあげて下さい

まとめ

- 消化管（胃腸）以外の病気でも腹痛が出ることがある。
- 原因として圧倒的に多いのは「便秘」「胃腸炎」など。
- 緊急手術などが必要な危ない病気のサインがあれば必ず救急受診を！
- サインが無くても不安な点があれば電話相談、受診してください。

ご清聴ありがとうございました
